

長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

会議名	市民フォーラム21 第5回 教育・文化部会
日時	平成22年12月24日（金）午前9時30分から午前11時25分
会場	長野市役所第二庁舎10階会議室17
出席者	作業部会員 （敬称略）
	関係課員

I 会議次第

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第4回 教育・文化部会 会議概要について 別添資料
- 4 市民フォーラム21 第4回 教育・文化部会 ワークショップまとめ（案）について
 - 政策4-1 次世代を担う人材の育成と環境の整備 ≪資料1≫
 - 政策4-2 豊かに学びあう社会の形成 ≪資料2≫
- 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱（案）の項目について ≪資料3≫
- 6 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ（案）について
 - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（たたき台）【教育・文化分野】 ≪資料4≫
 - (2) 政策4-1 次世代を担う人材の育成と環境の整備 ≪資料5-1、2≫
 - (3) 政策4-2 豊かに学びあう社会の形成 ≪資料6≫
 - (4) 政策4-3 ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承 ≪資料7≫
 - (5) 政策4-4 躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上 ≪資料8≫
 - (6) 政策4-5 地域から広がる国際交流の推進 ≪資料9≫
- 7 今後の予定について
- 8 閉会

II 会議の概要（主な決定事項、質疑等）

- 3 市民フォーラム21 第4回 教育・文化部会 会議概要について

① 長野市教育大綱に書かれている長野市教育の伝統を受け継ぐとは、具体的なものがあるのか、どのようなものか（第4回教育・文化部会での質問事項）

⇒ 昭和30年から、長野市教育大綱が示されており、時とともにその内容の見直しがあった。昭和62年の現在の教育大綱が示される前は、①個性・能力と社会性の開発をはかり、豊かな人間性をのばす。②基礎学力の向上を図る。③障害児教育の充実を図る。④豊かな情操の涵養に努める。等の7項目を教育目標としていた。

各学校は、これらを根底にすえ、子どもたちや保護者、地域の思いを大事にしなが、学校教育目標を定め、教育の実践が積み重ねてきた。これらの実践の積み重ねが、長野市教育の伝統の一つと考えている。

6 第四次長野市総合計画 後期基本計画 大綱まとめ（案）について

- (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（たたき台）【教育・文化分野】《資料4》
後期基本計画の体系（たたき台）【教育・文化分野】については、(2) から (6) まで、協議した上で、事務局からの提案のとおりまとめることとした。
- (2) 政策4-1 次世代を担う人材の育成と環境の整備 《資料5-1、2》
- ① 子ども、子供、こどもの表記の使い方についてどのように使い分けているのか
⇒ 前期基本計画では、子どもの表記で統一している。後期基本計画では、どのような表記にするか、作業部会で協議して決めていただきたい。
- ② 「児童・生徒」と「子ども」の表記の整理が必要ではないか。
⇒ 現時点では、基本施策及び施策の方向性を決める段階であること、作業部会のご意見を尊重してまとめていることなどから、用語についての表記を整理することを重要視していない。今後、具体的な内容を整理する段階で協議したい。
⇒ 学校内に限定した場合は、「児童・生徒」という表現をあえて使用し、地域や家庭を含めた場合は、子どもという表現にしていくよう整理してはどうか。
- ③ 地域に即した教育施設的设计・建築とは、具体的にどのような内容を想定しているのか。教育施設に含まれる対象はどこまでか。
⇒ ワークショップの意見としては、画一的な学校校舎を建設するのではなく、中山間地域であれば、地元の森林資源を活用した木材を利用した校舎を建設することなどの意見であると認識している。
- (3) 政策4-2 豊かに学びあう社会の形成 《資料6》
- ① 文化は人づくり、人を作れば文化が育つと思うので、まとめにおいて、人づくりが表現されているので良い。若年者の参加促進も含まれているので良い。
- (4) 政策4-3 ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承 《資料7》
- ① 行No.13 の右側のまとめ「新たな長野の独自色を出した文化芸術活動の創造」とあるが、具体的にイメージしているものがあるのか。
⇒ 長野に特色のあるものが少ないという意見があり、これから特色あるものを作っていけば良いのではないかという意見である。
⇒ 中央通りの商店会と連携して、ギャラリーを展開していくことを長野の特色としてはどうかという意見もある。
- ② 野外彫刻ミュージアム構想は、どんな内容なのか。知らない市民も多いのではないか。
⇒ 市有施設等に野外彫刻を設置し、箱物に彫刻を展示するのではなく、市内全域を美術館になぞらえて、野外彫刻めぐりなどを行っているものである。
⇒ 行No.29について、観光客に限定するのではなく、広く市民にも周知するために、観光客等と表現したほうが良い。
⇒ 長野市には面白いもの、興味深いものがあるのに、発信力が弱い。
- ③ 行No.4~10 について、市民会館の文言が出ているが、現在進行中である事業について、総合計画にどのように書けるのか、整合を図ることについて検討が必要ではないか。
⇒ 整合が図れるように、後日、現状を説明したい。
- ④ 文化芸術振興計画など、関連の計画について、資料提供してもらいたい。
- ⑤ 市民会館を文化芸術振興拠点としていくことについては、何をどうしたいのか良くわからない。施設の名称を含め、文化振興の拠点とすることがはっきりしていたほうが良いので

はないか。

(5) 政策4-4 躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上 《資料8》

① 市内のスキー場については、多くの市民に利用してもらいたいと考えており、大規模施設という表現に含まれるのか。

⇒ 現況と課題の整理を見ると、大規模施設は、オリンピックで建設したいいわゆる箱物を想定した内容である。市内のスキー場は、行No55にあるとおり、含めていない。

⇒ スキー場を含めた表現ということであれば、行No55の右側のまとめにある冬季競技施設に「等」をつけてはどうか。

② 長野市出身の国際スポーツ大会出場選手を育成とあるが、長野市出身とは、どのような対象を想定しているのか。市立高校の生徒を想定しているのか。

⇒ 長野市に縁のある人と幅広く捉えて欲しい。

(6) 政策4-5 地域から広がる国際交流の推進 《資料9》

① 「世界で活躍する長野人の支援について」は、これからの期待を込めての内容の表現が適切ではないか。

⇒ 「世界を目指す」という表現はどうか。

⇒ 世界を目指していない人にも「目指す気持ちを持って欲しい。」

⇒ 表現を改め、「世界で活躍できる人材の育成と支援」としたい。